

単元名	異性への関心	本時	異性への関心をとおして現在の心をつめる 1/1
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女はそれぞれ感じ方や考え方に違いがあるが同じ人間として、異性をよく理解し尊重する行動や態度が必要なことを理解させ、実行できるように心がけさせる。</li> <li>・男女の特性を理解し、今後の接し方を考えさせる。</li> </ul>		
	<p>主な学習活動</p>	<p>指導上の留意点(カウンセリングの視点)</p>	
導入	<p>1 簡単なスキンシップや意見交換を通して素直な思いを受け止めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* いいところさがし</li> <li>* 肩もみ</li> </ul> <p>2 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>人間には男性と女性がいてお互いをよく理解して大切に する行動や態度が必要なことを 知ろう。</p> </div>	<p>構成的グループエンカウンターの基本な考え方や実施する目的や効果を理解しながらエクササイズを行う。心のリラックスを図る。また児童の様子を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>&lt;クラスの実態&gt; ・学年が上がるにつれ男女間の意識が強くなり、互いに恥ずかしさがあると 触れ合おうとしない面がみられるようになってきた。お互いの気持ちを考え ずに行動したことが相手の心を傷つけてしまうことがある。</p> </div> <p>クラスの実態をふまえ、エクササイズ中も子どもの言葉や態度を受容・共感しながら子どもの素直な気持ちを引き出す。温かな人間関係や雰囲気作りに努める。</p> <p>話の中で教師の思いも素直に伝え、相互理解しながら授業を進める。</p>	
展開	<p>3 男性と女性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間</li> </ul> <p>4 お互いに恥ずかしいと感じるのはどんな場面か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークダンス</li> <li>・学習発表会</li> <li>・体育の時間 など</li> </ul> <p>5 なぜ恥ずかしいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異性への関心</li> <li>・容姿が気になる。</li> <li>・ひとりになりたい。 など</li> </ul> <p>6 男性・女性の違いや共通点を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体のつくり</li> <li>・心身の変化</li> </ul> <p>7 お互いをよく理解し、尊重して生活するためには、どうしたらよいか話し合う。</p>	<p>共感的理解に努め、具体的に児童の心情を引き出せるようにする。</p> <p>子どもの発言を繰り返すことで肯定的理解を示す。 「そうだね人間だね」 以下同様に肯定的理解を示す。</p> <p>男女共同で行うものは殆どが嫌だと、意地を張って言う子が多かった。</p> <p>性が違うから。男女では心が違うから。普段の生活が違うから。 「一年の時は仲良く遊んでいたけど二年になったら別々に遊ぶようになった。」 「5年になると男vs女のグループで遊ぶようになった。」</p> <p>子どもの目や表情、声の大きさ、態度から気持ちを分かろうとする。 思春期(大人へ近づく今の時期)の特徴をとらえさせ、二次性徴の発現と同じように心にも変化が起きることをとらえさせる。</p> <p>担任(男性)・養教(女性)をリアルに表現し、楽しい雰囲気をつくる。 男女の違いは体のつくりにもみられるが、それぞれが体や心の変化に気づき、お互いを理解しあうことが人間を尊重することにつながっていくことを理解させる。 相手のことを考えずにしていた行動が相手を傷つけてしまっていたことに気づかせる。 相手の立場になって行動する。・いろいろなことを一緒にして多くの人と交流する。 相手にいやな思いをさせない。人のいいところを見つける。 これまでのクラスの様子を担任が素直に語り、子どもの思い・担任の思いをまとめる。</p>	
終末	<p>5 さんへのメッセージ</p>	<p>この活動の趣旨を子どもたちに伝える。(担任・活動・養教) 導入で用いた いいところさがしと関連させ、最後に一人の子どもから全員にメッセージを届ける。全員、自分にメッセージが届くことになる。(相手のよいところとメッセージ) ・好きな色画用紙・ラベルの配布</p>	
実践の考察	<p>当初の計画では、生理面の指導が先であったが、クラスの実態から、心理面を先に指導することにした。導入の子どもたちの様子からは目を輝かせ、はずかしながらも楽しく、素直に活動する様子がみられた。展開も深まる頃には、真剣に考えたため沈黙する場面も見られたが、自分自身や友達をしっかりと見つめ、考えたことを発表できた児童が多かった。終末では、再度、構成的グループエンカウンターエクササイズを活用した。友達からのメッセージを母親に見せたいという児童もいた。担任との打ち合わせを大切に、子どもの心の揺れを見つめながら進めた授業で反省点もあったが、カウンセリングの考え方を生かした授業実践を心がけたいと思った。</p>		

